

# ブルガリア月報 [2012年8月]

平成24年9月  
在ブルガリア日本国大使館

## 概観

### 【政治・社会】

・ブルガリア社会党（BSP）は先に政府が建設中止を決定したベレネ原発建設の是非を問う国民投票請願のため77万人の署名を集めた。

### 【経済】

- ・政府は、2012年の経済成長が1.4%との見通しを示した。
- ・政府は、Melrose Resources社に対し黒海カヴァルナ東ガス田採掘を許可する決定を行った。
- ・ソフィア地下鉄2号線（約11キロの新規路線）の営業運転が開始された。

### 【我が国との関係】

- ・ゲオルギ・ストエフAOTSブルガリア同窓会会長への外務大臣表彰

この月報はブルガリア各種メディアの報道ぶり等を取りまとめたものであり、在ブルガリア日本大使館の意見や判断を反映するものではありません。

## 政治・社会

### 1. 内政

#### ◆ベレネ原発建設に関する国民投票

▶ブルガリア社会党（BSP）は7月末までにベレネ原発建設の是非を問う国民投票請願のため必要な50万を上回る77万の署名を集めたと発表、スタニシェフ党首は、1989年の共産党政権崩壊以降初めての国民投票になると述べた。2日、ボリスフ首相は国民の意見を尊重し国民投票を実施すると述べつつ、経費の節約のため、国民投票を来年の次期国民議会選挙と同時に行うことを提案した。これに対し3日、パルヴァノフ前大統領（BSP）は国民投票を実施する期限が法で定められているはずであり、来年の選挙まで延期することはできない、等批判した。専門家は、署名の確認に時間を要することもあり、今後国民議会の法務委員会などで議論がなされると述べた。

#### ◆クネヴァ新党

▶16日、メグレナ・クネヴァ元欧州委員（元大統領候補）の市民運動「市民のブルガリア」から7月1日に設立された同名政党は、7月30日付

で裁判所の決定により正式に政党として登録された旨発表された。

#### ◆スタニシェフBSP党首

▶30日、欧州社会党代表代行も務めるスタニシェフBSP党首は南アフリカ共和国ケープタウンにおける第24回社会党インターナショナル大会で、社会党インターナショナル副代表に、26日には、BSP幹部ズラテヴァ氏が社会党インターナショナル婦人部副代表にそれぞれ選出された。

#### ◆与党GERB

▶30日、ツヴェタノフ副首相兼内相は、GERBの地方組織強化のための地方巡回を開始、ロドピ地方の都市を訪問した。

#### ◆権利と自由のための運動（MRF：トルコ系）

▶7日、MRFを離党したカシム・ダル元副党首が新党結成を準備中と報じられた。

#### ◆安定と発展のための国民運動（NMSP）

▶7日、フリストヴァNMS P党首は、NMS Pの支持で市議会議員に当選しその後クネヴァ氏の「市民のブルガリア」運動に加入した議員は議員を辞職すべきと述べた。シューメン、スモーリヤン市では、NMS Pの支部のほぼ全員が「市民のブルガリア」に加入している状況。

## 2. 外政

### ◆ボリスフ首相：英国訪問（8月7～8日）

▶7～8日、ボリスフ首相は、ドブレフ経済・エネルギー・観光相を帯同してロンドンを訪問。首脳会談を開催した他、8日には、在英ブルガリア大使館において五輪ブルガリア代表と面会した。

▶7日の首脳会談では、主にエネルギー問題とブルガス港でのテロ攻撃を踏まえた治安問題が議論された。キャメロン首相が「ヒズボラの関与した」テロ攻撃への懸念を表明したのに対し、ボリスフ首相は、現時点ではヒズボラの関与は確認されておらず、未だテロリストの特定には至っていない旨述べた。

### ◆プレヴネリエフ大統領：英国訪問（8月8～12日）

▶8～12日、プレヴネリエフ大統領は英国を訪問し、ヘーグ英外相と会談した他、シティの金融機関代表者、キャメロン英首相主催のロンドン五輪閉幕レセプション等に参加した。

▶11日開催されたヘーグ外相との会談後、プレヴネリエフ大統領はブルガリアの記者団に対し、両国は治安問題で更に緊密な協力を達成していくとし、ブルガリアの治安機関の活動を規定する法律の作成を英国の専門家が支援することを表明した。また、治安問題の分野での改革に関し、国家警護当局及び諜報機関、国防情報局の活動を規定する新しい法律は来年4月までに国民議会で採択されることを期待する旨述べた。

▶プレヴネリエフ大統領は、ブルガス空港のバス

爆発テロの犯人らを解明するため、英当局がブルガリア当局に提供した支援に謝意を表明した。同大統領は、事件の情報を発表する段階にはないが、捜査は良い方向へ向かっており、我々のパートナーの支援を受けて事件は解決され、同事件の犯人は罰せられる旨強調した。

### ◆バローゾ欧州委員会委員長：ブルガリア訪問（8月31日）

▶31日、バローゾ欧州委員会委員長が、ソフィア地下鉄2号線の開通式出席のためブルガリアを訪問した。セルディカ第二駅で開催された同開通式には、プレヴネリエフ大統領、ボリスフ首相及びファンダコヴァ・ソフィア市市長等が出席した。▶ソフィア地下鉄2号線の開通式において、プレヴネリエフ大統領は、ブルガリアは新しい交通路線の開通を誇りにしており、ソフィア地下鉄は現代かつ実行力のある欧州のブルガリアの象徴である旨述べた。なお、EUは同地下鉄計画のため約4億7600万ユーロ（EU資金）、計画全体の50%を投資している。

▶ボリスフ首相との会談後の記者会見において、バローゾ委員長は、近日行われる新しい最高司法評議会委員及び検察長官の選挙の重要性を指摘しつつ、国家司法当局を含む全ての関係者が司法改革及び汚職対策分野の改善を強調すべきである旨述べた。また、同委員長は、ブルガリアのシェンゲン圏加入に関し、欧州委員会の支持を確認する共に、本件は可能な限り速やかに解決されるべきである旨述べた。

=====

## ◆上半期の輸出入実績

▶9日、国家統計局は2012年上半期の輸出入実績を公表した。それによると、輸出は昨年同時期との比較で2.8%増の194億レヴァに達した。そのうちEU域外への輸出は78億レヴァで、トルコ、中国、ロシア、セルビア、マケドニアが上位を占め、品目では燃料が最も多く21億レヴァを占めている。一方、輸入は245億レヴァで、2012年上半期だけで2011年の輸入実績を上回った。上半期の貿易赤字は2011年上半期の28億レヴァを大幅に上回り、51億レヴァに達した。

## ◆政府の経済成長予測

▶13日、デヤンコフ副首相兼財務大臣は、訪問先のヴァルナ市において「多くの憂鬱な内容の成長予想にも関わらず、ブルガリアは2012年、政府の目標である1.4%の成長を成し遂げられるだろう。EU加盟国の半数以上は不況にあるが、それはブルガリアには当てはまらない。」と述べ、政府による経済運営に自信を見せた。デヤンコフ大臣は2013年のブルガリアの経済成長について、1.8%を目標とすると述べた。また、デヤンコフ大臣は、今月初め格付会社のStandard and Poor's社がブルガリアの短期格付をA3からA2に引き上げたことが経済活動に好影響を与えており、世界的な大企業2社が、今年中にブルガリアに製造拠点を移すことを発表することになるとの見通しを述べた。

## ◆第2四半期GDP成長率（速報値）

▶14日、国家統計局は2012年第2四半期のGDP成長率（速報値）を公表した。それによると、ブルガリアの2012年第2四半期GDPは190億7700万レヴァ（約97億5400万ユーロ）となり、前年同時期との比較で0.5%、本年第1四半期との比較で0.2%それぞれ成長を記録した。なお、同時期のEU27全体のGDPは、第1四半期との比較で0.2%のマイナス成長となっている。ブルガリアのGDP成長率は

2009年にマイナス5.5%と落ち込んだものの、それ以降は0.4%（2010年）、1.7%（2011年）と回復基調にある。

## ◆ブルガリアへの直接投資は増加傾向

▶15日、中央銀行は2012年上半期のブルガリアへの直接投資（FDI）統計を発表した。それによると、2012年上半期のFDIは2億2140万ユーロで、これは2011年上半期（6320万ユーロ）との比較で1億5820万ユーロの大幅な増加となった。しかし、2012年第1四半期のFDIが4億7840万ユーロであったことから、第2四半期で2億5700万ユーロもの資本引上げがあったことになる。国別で見ると、最大の投資国はオランダで1億6300万ユーロ、2番目はスイス（1億2250万ユーロ）、それにロシア（6890万ユーロ）が続く。なお、セクター別でもっともFDIが大きかったのはエネルギー分野（電気、暖房、燃料、水等）であった。反対に投資引上げ（マイナス投資）が大きな国としては、ドイツ（-2億8400万ユーロ）、英国（-7700万ユーロ）が目立つ。オランダからの投資が目立つ背景としては、会社設立の容易さや優遇税制が理由で、多くの国際企業がオランダに設立したグループ企業を経由してブルガリアへの投資を行っていることがあげられる。

## ◆食料価格の高騰

▶20日公表された資料によると、2012年第2四半期の国内食料価格は昨年同時期との比較で6%上昇した。特に値上がりが見られる品目は卵（上昇幅23.4%）、豆類（同22.9%）などである。背景にはエネルギー価格の高騰と家畜用飼料など関連品目の値上がりがあるとされている。

## 2. 経済政策、産業

### ◆黒海の天然ガス田開発

▶1日、政府はMelrose Resources社（ルクセンブルク）に黒海のブルガリア経済水域にあるカヴァルナ東ガス田の採掘をコンセッション契約により

6年間独占的に許可する決定を行った。コンセッション料は年間生産量に応じて変動するが、政府は少なくとも年間110万米ドルの歳入を見込む。Melrose社は英国エディンバラに本社を置く石油・ガス採掘企業で、今回ルクセンブルクの子会社を通じて本案件を獲得した。同社は既にカリアクラガス田及びカヴァルナガス田（ともに黒海のブルガリア経済水域内）の採掘権をコンセッション契約により取得しており、それらからの天然ガス採掘量はブルガリア国内需要の15%を占めるに至っている。今回のコンセッションはそれらに続く同社3件目のもの。

#### ◆電気自動車への優遇施策

▶9日、ソフィア市内で8か所目の電気自動車用充電ステーションが開設され、式典にはドブレフ経済・エネルギー・観光大臣が出席した。同ステーションはCEZ Bulgaria社、Fullcharger Bulgaria社、ソフィア市が共同で設置したもの。政府は電気自動車の普及を後押しするため、電気自動車に対する自動車登録税、地方税、道路税、都市部の駐車料金免除などの優遇措置を今後順次打ち出す予定。

#### ◆上半期の電力輸出は減少

▶14日、2012年上半期の電力輸出量が明らかにされた。それによると、上半期のブルガリアの電力輸出は2011年上半期の66億3000万KWHから22%減少し、51億5600万KWHであった。周辺国の電力需要の減少が電力輸出減の原因であるとされている。

#### ◆ビジネスに係る行政手続の軽減策

▶15日、政府の行政改革評議会はブルガリアでのビジネス活動に負担となる各種行政手続を軽減するための271の対応策を決定した。多くはビジネス界からの要望に応えるものとなっており、これらの対応策は今年10月末までに順次実施される。

#### ◆ルーマニアへのパイプライン接続案件

▶16日、ボリスフ首相は、北部ルセ市で行われたガス・パイプライン起工式に出席した。全長25キロ（ブルガリア側15.4キロ、ルーマニア側7.5キロ）のパイプラインは、ルーマニアのガス輸送網に接続することでブルガリアへの新たなガス供給ルートを開拓する可能性がある。総工費は2380万ユーロで、うち約37.5%がEU資金でまかなわれる。工事は10月に両国で同時に開始され来年5月末の完成を予定している。ボリスフ首相は、「このインターコネクター建設により、ブルガリア国民は二度とガス供給を絶たれた状態で寒さに凍えることはなくなる」と強調した。ブルガリアは2009年1月、ロシアからのガス・パイプラインを通じたガス供給が、通過国であるウクライナにより絶たれ苦境に陥った経験からエネルギー供給源の多様化に取り組んでおり、このインターコネクターにより、緊急時にはブルガリアのガス消費量の約半分をルーマニア方面から供給できるとされる。ブルガリアはギリシャ、セルビア、トルコとの間にもそれぞれガス・パイプラインの整備を進めている。

#### ◆農地価格は上昇傾向

▶22日報道によると、2002年時点では、平均的な農地価格は1デカ（1000平方米）あたり140レヴァであったが、2011年末までには3倍程度に高騰した。農地所有者協会は2012年の農地価格はさらに7~10%上昇し、1デカあたり450レヴァに達するとしている。農地価格は2007年から2008年間の1年間に45%も上昇し、その後14%程度下落したものの、再度2009年からの3年間で50%上昇した。それにも関わらず、ブルガリアの農地価格は依然ルーマニアの半値以下であるとされる。専門家は、農地価格及び農産品国際価格は上昇トレンドにあり、農業は近年有望な投資先となっていると指摘している。

#### ◆ソフィア地下鉄2号線の開業

▶31日、ソフィア地下鉄2号線の開通式典が行われ、営業運転が開始された。2号線は既存1号線の終点である市北西部のObelya駅から市中心部を縦断し、市南部ロゼネッツ地区のJames

Bourchier 駅までの約11キロ区間を新たに結ぶ。ソフィア地下鉄は現在ソフィア空港への延伸工事を進めているほか、市南西部と北東部を結ぶ3号線の建設も計画されている。

=====  
**我が国との関係**

◆ **ゲオルギ・ストエフAOTS同窓会会長への外務大臣表彰**

▶22日、ゲオルギ・ストエフAOTSブルガリア研修生同窓会会長は、日本とブルガリアと

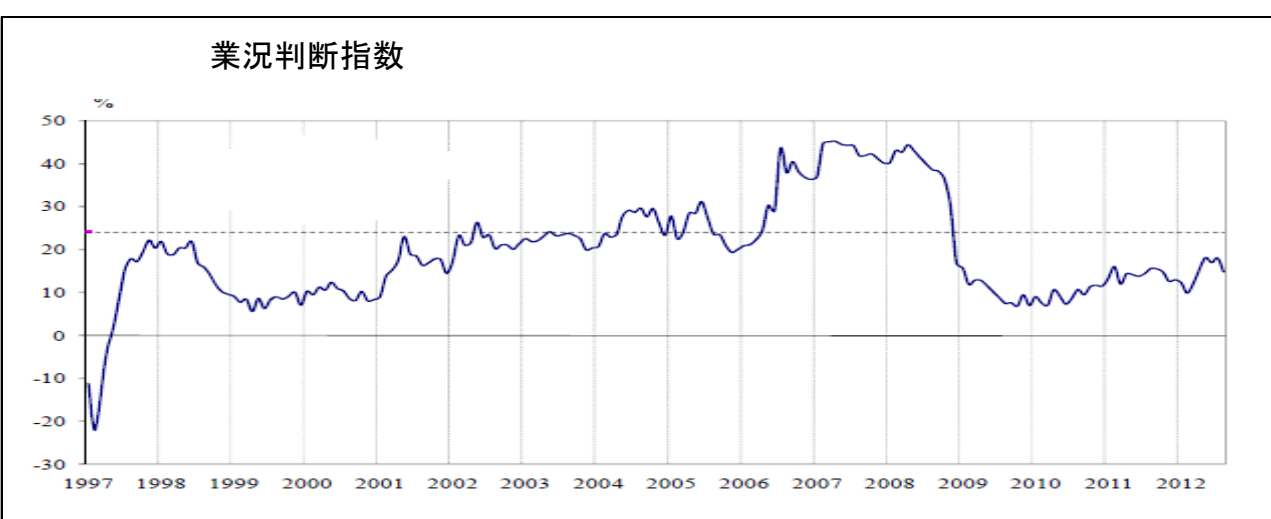
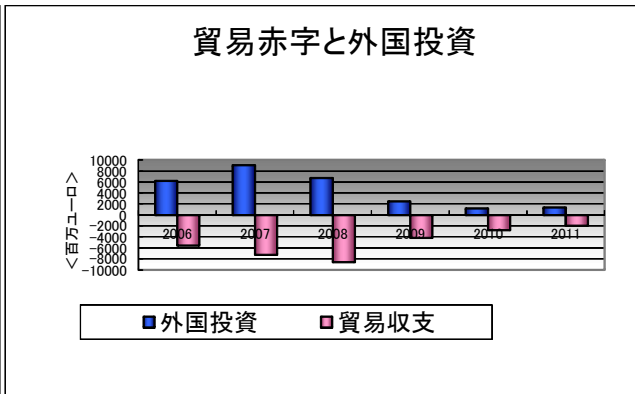
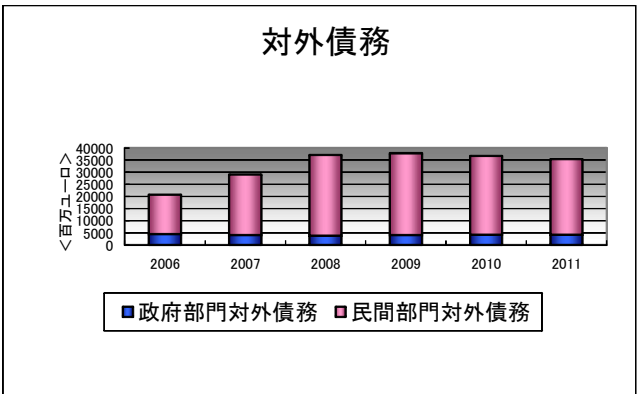
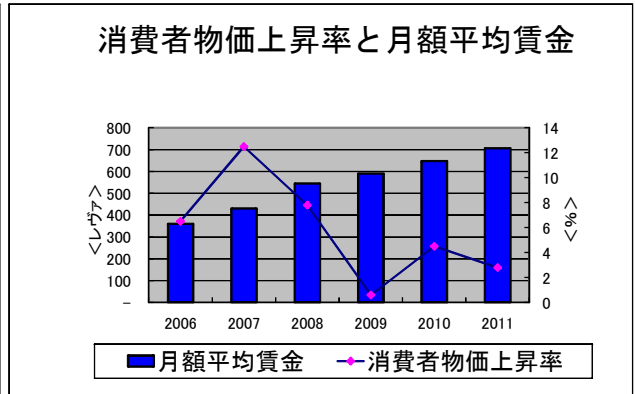
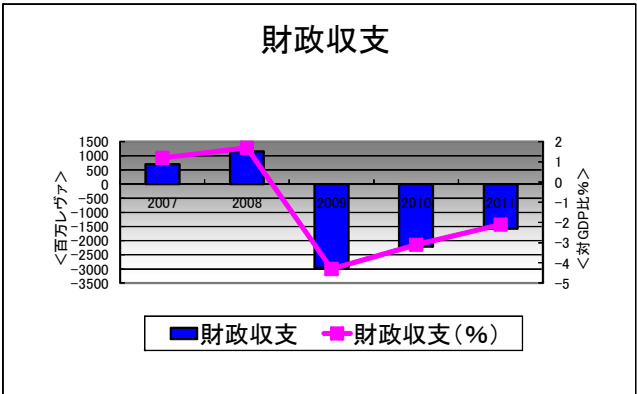
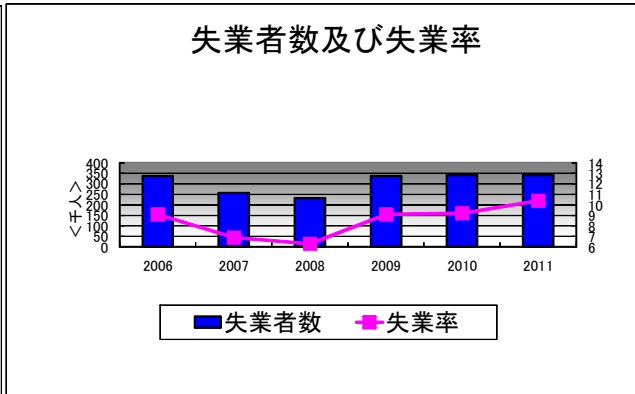
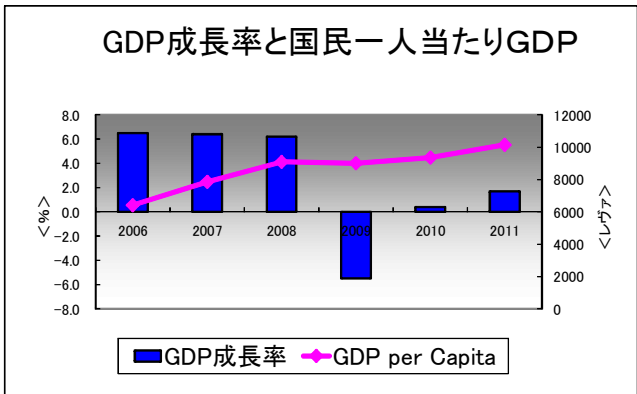
の友好親善関係の増進への貢献への功績が認められ伊藤大使より外務大臣表彰を伝達された。平成24年には全世界で個人62名と18の団体が外務大臣表彰を受けた。

## ブルガリア内政・外交の動き（8月）

在ブルガリア大使館

1（水）	
2（木）	
3（金）	
4（土）	
5（日）	
6（月）	
7（火）	☆ボリソフ首相：英国訪問（～8日）
8（水）	☆プレヴネリエフ大統領：英国訪問（～12日）
9（木）	
10（金）	
11（土）	
12（日）	
13（月）	
14（火）	
15（水）	
16（木）	●クネヴァ元欧州委員の「市民のブルガリア運動」が正式に政党として登録された旨発表
17（金）	
18（土）	
19（日）	
20（月）	
21（火）	
22（水）	
23（木）	☆ツヴェタノフ副首相兼内相：スペイン訪問
24（金）	
25（土）	
26（日）	●BSP幹部ズラテヴァ氏が社会党インターナショナル婦人部副代表に選出
27（月）	
28（火）	☆ヤーロン・イスラエル副首相兼戦略相：ブルガリア訪問
29（水）	
30（木）	●スタニシェフBSP党首が社会党インターナショナル副代表に選出 ●ツヴェタノフ副首相兼内相は、GERBの地方組織強化のための地方巡回を開始
31（金）	☆バローゾ欧州委員会委員長：ブルガリア訪問

# ブルガリア経済指標の推移 (出典：国家統計局, 中央銀行)



## ブルガリア主要経済指標

### < GDP成長率と国民一人当たりGDP >

	2007	2008	2009	2010	2011
GDP成長率 (%)	6.4	6.2	-5.5	0.4	1.7
GDP per Capita (BGN)	7,857	9,090	9,007	9,359	10,242

### < 財政収支 >

	2007	2008	2009	2010	2011
財政収支 (million BGN)	698.7	1,156.8	-2,959.5	-2,198.4	-1,575.8
財政収支GDP比 (% of GDP)	1.2	1.7	-4.3	-3.1	-2.1

### < 失業者数及び失業率 >

	2007	2008	2009	2010	2011	2012Jan	Feb	Mar	Apr	May	Jun	Jul
失業者数 (千人)	256	232	338	342	342	366	376	377	374	360	355	357
失業率 (%)	6.9	6.3	9.1	9.2	10.4	11.1	11.5	11.5	11.4	11.0	10.8	10.8

### < 消費者物価上昇率と月額平均賃金 >

	2007	2008	2009	2010	2011	2012Jan	Feb	Mar	Apr	May	Jun	Jul
消費者物価上昇率 (%)	12.5	7.8	0.6	4.5	2.8	0.2	0.9	0.3	0.2	-0.1	-1.0	1.5
月額平均賃金 (BGN)	431	545	609	648	707	720	719	754	760	758	755	-

### < 対外債務 >

	2007	2008	2009	2010	2011	2012Jan	Feb	Mar	Apr	May	Jun
政府部門対外債務 (million EURO)	4,092.3	3,935.9	4,208.3	4,326.9	4,224.6	4,166.2	4,132.3	4,147.3	4,147.5	4,145.9	4,071.6
民間部門対外債務 (million EURO)	24,924.5	33,310.6	33,608.2	32,724.6	31,160.0	31,509.1	31,364.3	31,599.0	31,461.6	31,340.1	31,705.9

### < 対内直接投資と貿易収支 >

	2007	2008	2009	2010	2011	2012Jan	Feb	Mar	Apr	May	Jun
対内直接投資 (million EURO)	9,051.8	6,727.8	2,436.9	1,208.5	1,341.2	272.8	403.8	478.4	427.3	181.1	221.4
貿易収支(FOB) (million EURO)	-7,245.3	-8,597.7	-4,173.9	-2,763.7	-1,974.6	-208.0	-481.3	-819.5	-1,236.7	-1,632.4	-1,990.2
輸出(FOB) (million EURO)	13,511.9	15,204.0	11,699.2	15,561.2	20,226.7	1,435.0	2,912.6	4,633.1	6,287.9	8,155.3	9,921.6
輸入(FOB) (million EURO)	20,757.2	23,801.7	15,873.1	18,324.8	22,201.3	1,643.0	3,393.9	5,452.6	7,524.6	9,787.8	11,911.9